平成２７年度　第２回理事会議事録

開催日時：平成　27　年　6　月　　28　日（日）　　　10:00～12:00

開催場所：済生会山口総合病院　透析室前会議室

出席者（理事）：山内秀一　伊藤　弘　堀　健司　齋藤康博　大平知之

河村裕介　小田真一郎　山野井健　上田亜希子　渡邊征二　茨　久典

新町浩太郎　松永千晶　池田隆志　齋藤茂治　平嶋　修　内山茂信　丹羽英彰

出席者（監事）：齊藤右司

欠席者：三輪光良　高山裕健

　以上、定款第33条の規定により理事の過半数の出席で理事会は成立。会長 山内秀一が議長となり、定款第34条に基づく出席者の中より、議事録作成人として新町浩太郎理事、議事録署名人として齊藤茂治理事、松永千晶理事を選出した後、次の議案を付議した。

**議題１　諸規程改定について**

堀常任理事

　学術功労賞および学術奨励賞規程の改定案を提示する。

　まず、学術功労賞規程【審査】第４条

　学術功労賞の審査は、山口県診療放射線技師会表彰委員会で行い、理事会で決定する

　上記、表彰委員会を組織委員会へ名称変更していることにより

　学術功労賞の審査は、山口県診療放射線技師会組織委員会で行い、理事会で決定する

　同様に、学術奨励賞規程【審査】第４条

　奨励賞の審査は、山口県診療放射線技師会表彰委員会で行い、理事会で決定する

　上記を

　学術奨励賞の審査は、山口県診療放射線技師会組織委員会で行い、理事会で決定する

　へ改定することについて審議をお願いする。

齋藤常任理事

　表彰委員会は現在存在しておらず、表彰関係の審査を組織委員会で行っている。その為、表彰委員会を組織委員会に文言の変更が必要という事である。組織委員会で審査した結果を理事会で再度厳正に審査することになる。

堀常任理事

　現状は、組織委員会の活動の中に表彰を含めている状態である。

山内会長

　採決をとる。

　学術功労賞および学術奨励賞規程の改定について

賛成　19人　反対　0人　保留　0人

議題１　学術功労賞および学術奨励賞規程の改定については可決された。

　平成27年6月28日より施行とする。

**議題２　役員選任規程について**

堀常任理事

　昨年度、役員選任規程を改定したが司法書士　渡辺さんのほうから、病気等により役員欠員が生じた場合、改めて補欠選挙を行わなくても当初の選任時に補欠役員を選任しておけばその補欠役員で充当することができ利便性があるのではないかという助言があった。

　役員選任規程に補欠役員を置くということを追加したいというのが提案の主旨である。

小田常任理事

　補欠役員を置くということは欠員を絶対生じないということか。

堀常任理事

　その通りである。

齋藤常任理事

　例えば、宇部・小野田地域理事に欠員が生じた場合、他地域所属の補欠役員がそこを担当することになる可能性もあるという事である。

山内会長

　全地域に補欠役員を置くのは難しい。1名ないし2名程度が適当と考える。

小田常任理事

　地域理事に欠員が生じた場合、代行を置けばよいのではないか。

堀常任理事

　ただし、代行者には理事会に出席して決議する権利は無い。

大平常任理事

　役員選任の度に補欠役員を決めておく方法と、必要時のみの臨時総会（補欠役員の選任）とではどちらが大変かも考慮するべきである。

山内会長

　毎回補欠役員を選任するとなると、その都度誰かにお願いすることになるが、進んで役員をやろうとする者は多分いないと思う。その中から選出するのは大変かもしれない。

小田常任理事

　いざという時、どの役の常任になるか分からない状態では依頼は困難である。

齋藤常任理事

　以前当会の組織編成を取り決めたが、常任理事欠員の場合、その列に役割を代行できる理事が控えている。地域理事にはそれが無いため、例えば補欠役員が下関地域所属、理事欠員が生じた地域が岩国だとすると　地域の運営も困難である。

小田常任理事

　不幸にして亡くなられた場合はどうなるのか。

堀常任理事

　役員定数は19名から21名、現在は下限ぎりぎりであり定数が決まっていてそれを登記しているので数に変更があった場合、補欠役員を選任する必要がある。ただし、病欠等であれば理事会欠席ということで運営上問題は無い。

河村常任理事

　会計を担当する立場から言わせて頂くと、臨時総会に対する費用の負担はなるべく控えたい。

伊藤副会長

　委任状の件は考慮する必要はあるが、講習会等会員の多く集まる機会に乗じて行えば費用負担はあまり無い。

丹羽理事

　役員欠員事態あまり起こりうることではないし、事が起きた時に適任者を人選し臨時総会開催とすることを堤案する。

山内会長

　諸々の意見を考慮したうえ採決を採る。

役員選任規程に補欠役員を置くということについて

賛成　5人　反対　14人　保留　0人

議題2 役員選任規程(補欠役員を置く) については否決された。

**議題３　マンモグラフィ講習会の今後の開催について**

楢崎理事

　マンモグラフィ講習会は回を追うごとに県内の受講者は減少し、逆に県外からの受講者

　は増加している。今年開催した第8回では全受講者数の4割が県外からであった。認定取得率に着目すると新規コースでは近年40～60％弱となっている。しかし、これは県外受講者を含めた結果である。

　第8回での県内外の認定取得率と判定に関しては、県内受講者の新規コースでの取得率は20％、県外受講者は40％である。

　県内の受講者数の減少と低い認定取得率を考慮すると山口県マンモグラフィ講習会を一時中断するか完全に中止しても良いのではないかと考える。

山内会長

　去年の理事会では無くしても良いのではないかということだったと思うが、8月の連絡協議会にて今後どのようにするかを決定することになっている。今理事会において当会の見解を決定する。

　県内での認定取得者はすでに多数存在しているので、今後は新卒者対象となり、今以上に受講者は増えないだろう。しかし、開催を断ると補助金は無くなる。

　講習会担当者は、準備および当日とかなりの労力を使うことになるが、受講者が減少している現在、あまりメリットを感じない。

　完全中止とするか、4～5年先に開催するかの判断をしたい。

齋藤常任理事

　近隣の県の状況はどうか。

山内会長

　広島は3、4年前に完全に中止、鳥取は1回のみ開催、徳島は継続しているが受講者が集まらず毎回赤字である。

河村常任理事

　更新期間は何年なのか。

楢崎理事

　5年に1度である。

河村常任理事

　そうであれば5年ごと更新者を対象に開催してはどうだろうか。

楢崎理事

　県開催の更新コース受講者は12名とされている。今後もこの数の変更はないと考える。

山内会長

　当初、医師および技師の同時開催であった。受講者減により隔年交互開催となったが、今年は医師の講習会は中止となった現状を踏まえると、技師においても中止する方向が賢明ではないだろうか。

　今後、県内での開催を要望する声が多くなった時は会単体での行うことも考えられる。ただし、受講料は今以上に徴収することとなる。

小田常任理事

　更新者12名のみの開催ではどうか。

山内会長

　50名で予算的にはぎりぎりであり、スタッフ人数、講師人数および機材等に係る経費を考えると12名では難しい。

山内会長

　採決を採る。

　マンモグラフィ講習会を中止することについて

賛成　19人　反対　0人　保留　0人

議題3 　マンモグラフィ講習会の今後の開催について当会の見解は中止とする。

**議題４　ホームページ作成ソフト購入について**

齋藤常任理事

　現在、徳光会員が技師会ホームページを担当している。ホームページを作成するに当た

　り徳光会員が個人でソフトを取得し行っているが、今後、管理者の交代等を踏まえ使いやすいホームページ作成ソフトの購入が必要となる。

　山口県診療放射線技師会としてホームページ作成ソフトの購入を検討して頂きたい。

山内会長

　徳光会員には長年技師会ホームページの管理をお願いしており後任者等の事を考えると金額も高い物ではないだろうから購入することを提案する。

山内会長

　採決を採る。

山口県診療放射線技師会としてホームページ作成ソフトの購入について

賛成　19人　反対　0人　保留　0人

議題4 ホームページ作成ソフト購入については可決された。

**報告事項**

1. 柏村　博　会員より10万円の寄付

山内会長

　柏村会員より10万円の寄付を頂いている。60歳以上の会員より10万円以上の寄付を頂いた場合、当会規程では会費を免除としている。本人の意思を確認次第、柏村会員の会費を免除とする。

1. 中四国会長会議報告およびその他

山内会長

・2015年CSFRT奨励賞、功労賞推薦

　奨励賞：女性部会「さぬき美じょん」発足20年、読影塾、市民公開講座の開催（香川）

　　　　「胃癌部会講習会」発足27年、胃癌検診を高める動き（山口）

　　　　「西部医療画像研究会」発足12年　医療技術者としてあるべき画像理論（岡山）

　功労賞：藤田仁（岡山）

　特別功労賞：馬場聡、深見孝二（香川）

・業務拡大に伴う統一講習会の申し込みについて（日程調整は教育委員が中心となり決定）

　統一講習会は8月から開始（開催予算20万円）

・CSFRTのときに提出する山口県診療放射線技師会のみの入会者リストは、JARTの住所

録フォーマットで送る事

・平成27年度中四国診療放射線技師会協議会会費（山口県：200円×474名=94,800円）

　今後の検討項目　協議会会費を200円から250円に値上げ

　県のみの入会者からも協議会費を徴収してはどうか等の意見が出された。

・JARTから支給される、CS9の経費が30万円となった（交通費含む）

・CS9の研修会は、CSFRT終了後、同会場で開催される。（多くの方に参加頂けるように

広報をお願いします。）またCS9会議の開催は岡山で開催し、必ず各県1名が出席（2人

目の出席が必要な場合は、旅費は各県負担）

・8月9日（日）岡山でCS9会議が開催される。当県からは、近沢、兼廣会員の２名が参

　加（１名分の旅費は、県技師会から支給）

・各県のCS9女性代表の任命は、各県会長が2名の推薦書を書き、地域理事へ提出。交代

する場合は各県に申し出る。県は後任を決め交代届けを地域理事へ提出、地域理事は

JARTへ提出。基本的に女性代表の任期は2年

・兼廣会員が今年度末で担当者を降りるため、次のCS9担当者を選出したい。山口県を女

性会員の人数が同じになるよう「下関」「宇部小野田」「山口」「周南」「萩・長門、防府、柳井・大島、岩国」の５ブロックに分け、現在、担当していないブロック内から１名選出頂きたい。

その他

・日本診療放射線技師連盟入会のお願い

・７月1日付で、県の医療監視委員増員として、齊藤会員、新町会員、小畑会員が任命された。

・今年、福岡県診療放射線技師会学術大会の案内を広報させて頂いたが、来年も他県からの学術大会参加を募集する旨の連絡有り。来年の開催日は、6月25日、26日との事。

なお今年の参加者は、会員（県内）：345名、（県外）：12名、非会員：51名、学生：4名

の合計412の参加者があったとのこと。

・平成29年の山口県診療放射線技師会総会は、出来れば5月21日（日）を避けて開催頂

きたい。

・JART女性活躍推進委員会　臨時実行委員会に兼廣会員が出席。

1. 総会学術大会の決算報告

河村常任理事

　第71回総会・学術大会・公開講座の決算を報告する。

　予算上重要な数字、学術大会の予算額は230,000円。実際は234,400円とほぼ予算通り

　の執行であった。

　これまで、総会・学術大会・公開講座に掛かった総支出は出ていなかったが、今回それを示すと741,889円であった。

　今後、総額、事業費、管理費等掛かった金額を示していきたい。

　決算額から、管理費に掛かる金額が大きいことが分かるが、管理費はなるべく節約して頂きたい。

　次に、公益事業支出を示すが事業を終了したもののみの表記となっている。地域講習会等終了次第、報告願いたい。

**検討事項**

1. 山口県健康福祉部との連絡協議会の議案について

山内会長

　県との連絡協議会の議案だが、マンモグラフィ講習会については昨年からの継続事項であったと思うがその他を齋藤常任理事にお願いする。

齋藤常任理事

　昨年からの検討事項は、

1. マンモグラフィ講習会について
2. 緊急被ばく医療マニュアルについて
3. 医療監視について

人員、監査方法について

1. 山口県の放射線治療精度のビームの統一に関する活動について

の4点である。

山内会長

　今年も緊急被ばくに関しての訓練が行われるが、当会からの講師として昨年同様、吉永会員にお願いする。

　また、県内の放射線治療の精度と均てん化に関する活動ということで今年予算を付けて頂いたが、今後、行政にも加わって頂き本格的に進めて行きたいと思っている。

齋藤常任理事

　医療監視に関しては解決されてないのか。

山内会長

　解決されているため削除しても良い。

齋藤常任理事

その他、思いつくところがあれば7月5日までのメール討議としたい。

1. 来年度総会の委任状について

山内会長

　以前より総会委任状の返信を郵送にしてはどうかという提案および検討がなされていた。今年度の様子を見て決めるということであったが今回のように齋藤、大平両常任理事のがんばりで総会資料、抄録集が早く出来上がれば郵送でも大丈夫そうだがどうか。

齋藤常任理事

　問題は結構ある。どこに郵送するか、楠本事務員の仕事の関係、締切日、または委任状数が総会成立に至らなかった場合等が考えられ、今回だけで判断しないほうが良いと思う。

山内会長

　郵送にするのなら12月までに決める必要がある。

齋藤常任理事

　次の理事会に委任状郵送の問題点を提示するので検討して頂きたい。

1. 今年度総会・学術大会の反省と今後の課題

茨理事

　広報、特にポスターに関して、下関地域では各施設への配布を製薬会社のＭＲに頼んだ

　が行き渡らなかった。作成枚数(300枚)、大きさは適当であったか。等の課題がある。

山内会長

　配布に関しては理事会時に各地域理事に渡す方法もある。加えて早めに原案を決め理事会にて検討出来るようにしなければならない。枚数は200枚が妥当だろう。大きさも今まで通りA3でよい。

茨理事

　初めて総会担当となった場合、何をするのか分からず混乱してしまう。特に総会関係者の前日からの準備、当日の役割、懇親会、宿泊等を把握するため一覧表の作成が必要と考える。今回を参考にして、齋藤常任理事がひな形を作成中である。

齋藤常任理事

　宿泊に関して、基本的な宿泊者をどこまで宿泊可とするのか定かでない。また、ポスターの件もそうであるが、総会を開催するに当たり、理事会で検討しておかなければならないもの、準備するもの等、総会準備または運営のマニュアルを作成する予定にしている。

山内会長

　まず先ほどのポスターだが200枚、サイズはA3。

　宿泊については、理事会メンバー(監事含)、学術委員、名誉会員、顧問、ホームページ担当者、事務員。特に地元の会員の宿泊ついては自宅からの距離で判断する。

茨理事

　公開講座等のビデオ撮影について、今回ビデオ撮影は行っていなかったが講師よりビデオデータがあれば欲しいという問い合わせがあった。

大平常任理事

　学術でビデオカメラを用意すれば良かったが、撮影には本人の許可が必要である。通常の講習会の場合、講師に撮影許可を紙面で問い許可が出れば撮影を行っている。次回より公開講座においてもカメラ、撮影許可承諾書を持参することとする。

茨理事

　会場のごみ処理について、総会終了後エレベータホールに空き缶の置忘れがあった。ごみ箱の設置が必要と思うが、ごみの各自持ち帰りはモラルとして当然である。ごみ箱の設置は今後どのようにすれば良いか。

山内会長

　ごみの各自持ち帰りは基本的なことであるが、準備担当としてはごみ袋の用意は必要である。

茨理事

　会場の駐車場は侵入経路が一方通行であり、連絡不足のため会員に迷惑をかけた。今後は、抄録集、ホームページへの掲載等、会場の情報を予め知らせることが必要である。

茨理事

　総会の準備に関しては今後、齋藤常任理事が作成しているマニュアルを引き継ぐことにより総会担当初心者でもスムーズに準備、運営ができると思われる。

小田常任理事

　今回の委任状には議長には投票権が無いことの記載が無かった。議長には委任しないよう促しているがまだまだ目にすることがある。気を付ける必要がある。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作り、定款第34条に基づき、会長及び監事並びに議事録署名人がこれに記名押印する。

　一般社団法人山口県診療放射線技師会　平成27年度　第2回理事会

山口県診療放射線技師会会長　　山内秀一

代表議事録署名人　　理事　齋藤茂治

理事　松永千晶

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　監事　齊藤右司